

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**土浦市歴史的風致維持向上計画(令和5年12月19日認定)**  
(最終変更 令和8年3月31日)

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 関係部局との連携体制について	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 歴史まちづくり包括的支援事業	.....	2
2 土浦市景観計画改定事業	.....	3
3 ジオパーク推進事業	.....	4
4 都市景観整備事業	.....	5
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 土浦城址整備事業	.....	6
2 歴史的な建造物の保存整備・活用事業	.....	7
3 まちかど蔵整備事業	.....	8
4 博物館情報サービス推進事業	.....	9
5 上高津貝塚再整備事業	.....	10
6 亀城公園整備・活用事業	.....	11
7 中心市街地まちなか再生事業	.....	12
8 水郷筑波サイクリング環境整備事業	.....	13
9 公共サイン・観光案内板整備事業	.....	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財危機管理対策事業	.....	15
2 「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」周知・啓発事業	.....	16
3 コミュニティ助成事業	.....	17
4 無形民俗文化財等保存・継承支援事業	.....	18
5 博物館重要資料公開推進事業	.....	19
6 未指定文化財把握調査事業	.....	20
7 「土浦の歴史と民俗」映像ソフト制作事業	.....	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	.....	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	24
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
関係部局との連携体制について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

協議会及び幹事会が中心となって協議・連絡・調整を行い、協議会を毎年1回開催し、事業の推進及び進捗管理を図る。事業の実施にあたり専門的知見が必要となる場合は、学識経験者等から助言・協力をいただき、国や茨城県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行い、所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会・幹事会を各1回開催し、当年度事業の進捗状況報告を行った。

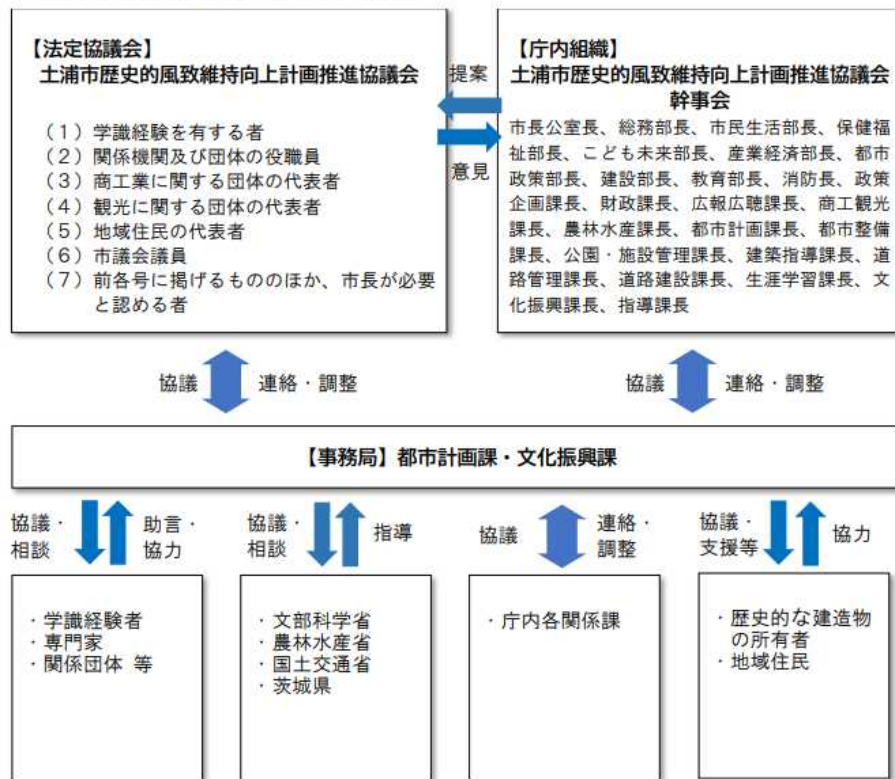
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会  
(会長:学識経験者、委員:市議会議員、商工業関係団体、観光関係団体、建築士、市民団体、県関係課長)

○第1回 令和8年1月26日開催  
議題 土浦市歴史的風致維持向上計画の進行管理について

土浦市歴史的風致維持向上計画の推進体制図



土浦市歴史的風致維持向上計画の推進体制図

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

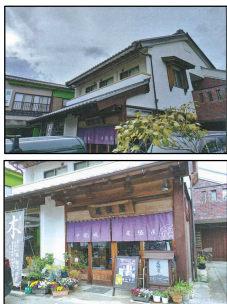
項目		評価対象年度	令和7年度
		担当	現在の状況
(1)① 歴史まちづくり包括的支援事業		土浦市都市計画課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和15年度		
支援事業名	市単独事業等		
計画に記載している内容	既存の協働のまちづくりファンド事業の支援内容の拡充、建築基準法の適用除外による改修方法の選択肢の拡大、各種サービス事業者とのマッチングによる建造物の活用などを通して、歴史的な建造物の保存・活用について、費用の支援から、改修方法、活用までを包括的に支援する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 建築基準法の適用除外に関する条例(土浦市歴史建築物の保存及び活用に関する条例)を令和7年10月1日に制定し、防火地区等における既存不適格となっている建築物に対して保存と活用を促す体制を整えた。
- 条例制定にあたり、保存と活用に関する手引書を作成しホームページ上で公開した。
- 対象エリアや、歴史的建造物の所有者に連絡し、制度の周知や説明を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



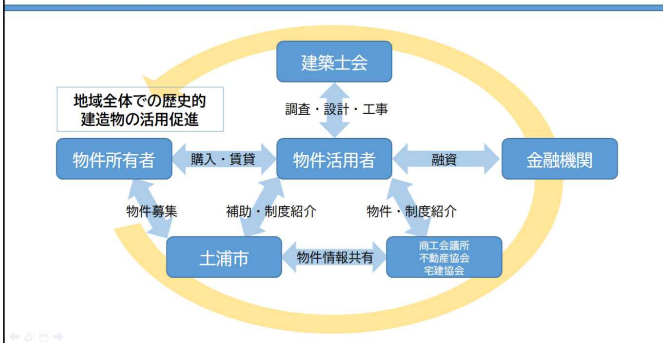
外壁(塗り壁)の塗装  
木部の塗装補修



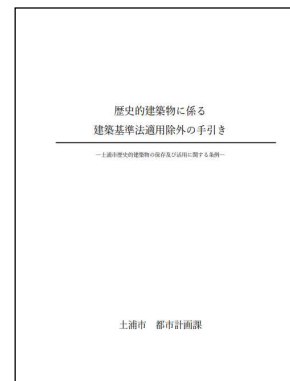
正面の看板建築を外し、元の葺の補修を実施

まちづくりファンドの修理事例(令和7年度)

歴史的建造物の活用促進のイメージ



歴史的建造物保存・活用の推進体制



歴史的建築物に係る建築基準法適用除外の手引き(令和7年10月1日作成)



歴史的建築物の建築基準法適用除外について(市公式ホームページ)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(3)① 土浦市景観計画改定事業	土浦市都市計画課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 平成23年(2011)に策定した土浦市景観計画について、景観を阻害する恐れのある建造物の増加に対応するとともに、歴史的な建造物が形成する町並み、筑波山麓地区の自然、霞ヶ浦湖畔の蓮田などの景観を保全し、景観資源として活用を図るため、計画の見直しを検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、景観計画の改定にあたり、茨城県主催の景観行政セミナーや景観担当者会議に出席するとともに、他市町村の景観計画の策定状況について調査及び、当市の計画の改善点、改定の方向性について検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国の補助(景観改善推進事業)を活用する。また、改定にあたっては景観審議会や市民の意見を聴きながら内容を検討する。

状況を示す写真や資料等

令和8年度以降の予定について  
 土浦市景観計画の策定から10年以上が経過していることから、計画の見直しについて検討する。

・太陽光発電施設(メガソーラー)の設置について  
 現行の土浦市景観計画では、太陽光発電施設の景観形成基準がないため(通信用鉄塔のみ)、今後、改定を検討する。  
 (例:届出の要件や景観形成基準の設定等)



太陽光発電施設設置による景観への阻害状況(筑波山麓地区)



高さの制限やダークブラウン色の目隠し設置による景観誘導の事例(笠間市)



景観計画区域及び重点区域



評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(3)③ 都市景観整備事業	土浦市都市計画課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 景観計画及び屋外広告物条例に適合した建築行為等に係る景観誘導により、本市が誇る歴史的町並みや自然・農業景観の保全及び形成を図る。  
 地域のシンボリックな建造物等について、積極的に景観重要建造物への指定を行うことで、将来にわたり良好な保全を図る。  
 また、景観まちづくり団体を認定、支援することで住民主体となった景観活動に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、「郁文館の正門」及び「土浦市民会館」を景観重要建造物の指定標識を作成、設置した。  
 ○大規模な建築行為に対して、市が委嘱する景観アドバイザーに意見を聴取し、景観誘導に努めた。  
 ・イオンモール土浦外壁改修工事 ・土浦市立乙戸小学校改修工事  
 ・介護付き有料老人ホーム新築工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

土浦市景観計画により、景観計画区域及び景観形成重点地区を指定し、地区独自のきめ細かな景観形成を図ってきた。  
 中心市街地においては、エリアを景観形成重点地区(JR土浦駅周辺地区)に指定し、歴史・文化及び市街地における質の高い景観形成を誘導している。また、駅前通り及び歴史の小径整備地区を景観重要道路に指定し、工作物等を景観配慮色に誘導するなど統一の図れた景観形成により、にぎわいの創出に寄与している。

- 平成21年度 景観行政団体へ移行
- 平成23年度 景観計画の公告、景観条例の一部施行
- 平成24年度 景観条例の全面施行、届出制度開始
- 景観重要建造物の指定(3件)
- 平成26年度 土浦市協働のまちづくりファンド事業による修景補助
- 景観重要道路の指定(土浦駅前通り、歴史の小径整備地区)
- 平成30年度 土浦市屋外広告物条例施行
- 令和3年度 景観重要建造物の指定(1件)
- 令和5年度 景観重要樹木の指定(1件)
- 令和6年度 景観重要建造物の指定(2件)

景観形成基準(景観計画重点地区「霞ヶ浦湖畔地区」内)  
 ・色彩(明度や彩度)の制限  
 ・高さの制限(20m以下)等



土浦市景観計画に基づく景観誘導の事例  
 (川口運動公園(景観計画重点地区)の事務所修繕・倉庫新築)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(1)② 土浦城址整備事業	土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業等

計画に記載している内容	本市を代表する文化財である土浦城址に係る保存・活用の方針や具体的な取り組み内容を位置づけた個別の保存活用計画の策定を検討する。また、二の丸の濠の復元整備、霞門周辺の整備、亀城のシイ周辺の整備、ヴァーチャル(VR・AR)による城址復元を検討する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ヴァーチャルによる復元等に関して民間事業者と意見交換を行った。また、ヴァーチャル復元に関し、高額な費用が見込まれることから、別途、二の丸の濠の復元についても検討し、発掘調査や遺物整理作業に係る費用を積算し、内部協議を行った。

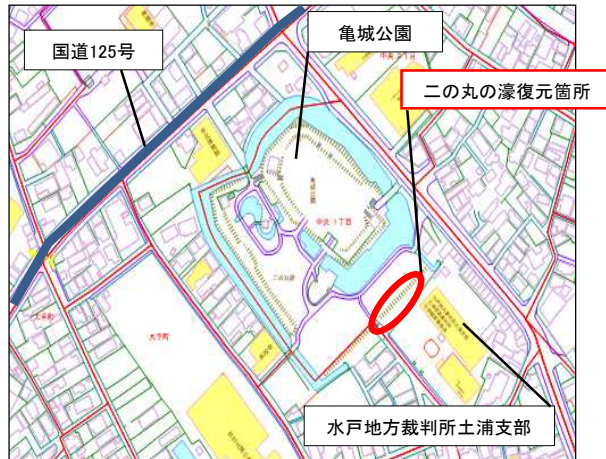
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

ヴァーチャル(VR・AR)による城址復元の民間事業者(2社)との意見交換の実施  
 令和7年5月  
 令和7年8月  
 令和7年11月  
 その他、状況に応じて適宜、内部協議を実施



二の丸の濠の復元位置(裁判所脇)



事業位置図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(1)③ 歴史的な建造物の保存整備・活用事業		土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 文化財指定された建造物については、物件ごとに個別の状態を把握し、必要に応じて修理・改修を検討する。文化財指定されていない建造物については、国の登録制度、歴史的風致形成建造物や景観重要建造物の指定制度を活用し、保存措置を図る。  
 「郁文館の正門」、「一色家住宅主屋」など、指定文化財や登録文化財で未活用のものについては、学術機関等と連携し、地域の実情を踏まえながら観光資源、集いの場、民間の商業施設などの効果的な活用法を調査研究する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○昨年度から3か年の事業計画で開始した、市指定文化財「愛宕神社本拝殿」の茅屋根修繕に対し、修繕費の半額を補助した。  
 ○中央一丁目地内「バルナバ教会」及び真鍋五丁目地内「旧紫山塾主屋」について、文化庁による手続きが完了し、国登録文化財に登録された。さらに、市所有の国登録有形文化財「一色家住宅主屋」について、現状、耐震性が確保されていないことから、観光ボランティア協会と連携し、地区公民館講座のまち歩きツアーのスポットとして活用した。なお、見学者等の安全対策として、敷地入口に侵入防止柵を設置した。引き続き、同住宅については、民間活力の導入を念頭に置いた活用を目指す。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市指定文化財「愛宕神社本拝殿」修繕後の様子



国登録有形文化財「バルナバ教会」  
(中央一丁目地内)



国登録有形文化財「旧紫山塾主屋」(真鍋五丁目地内)



国登録有形文化財「一色家住宅主屋」  
(西真鍋地内)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(1)⑤ まちかど蔵整備事業	土浦市商工観光課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	国の登録有形文化財であるとともに、市の景観重要建造物で、現在は土浦市観光協会として活用されている土浦まちかど蔵「大徳」(旧大徳呉服店)及び土浦まちかど蔵「野村」(旧野村さとう店)の補修を行い、安全面や景観の向上を図り、観光拠点としての魅力向上を目指す。
-------------	--

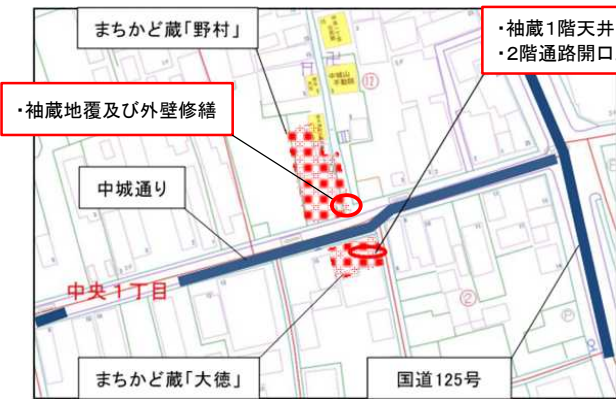
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、以下の補修工事・修繕等を実施し、安全面や景観の向上を図った。

- ・まちかど蔵「大徳」袖蔵1階天井(2階床)木材剥離修繕
- ・まちかど蔵「大徳」の2階通路開口上部壁補修工事
- ・まちかど蔵「野村」袖蔵地覆及び外壁修繕

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修繕工事位置図

- ・袖蔵1階天井(2階床)木材剥離修繕
- ・2階通路開口上部壁補修工事



まちかど蔵「大徳」袖蔵1階天井(2階床)木材剥離修繕



まちかど蔵「大徳」2階通路開口上部壁補修工事



まちかど蔵「野村」袖蔵地覆及び外壁修繕

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(4)① 博物館情報サービス推進事業		土浦市博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	現在は館内閲覧用に限定される博物館資料情報や映像ソフトについて、外部(自宅パソコンやスマートフォンなど)からも閲覧ができる情報サービスを構築することで多様な情報発信を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

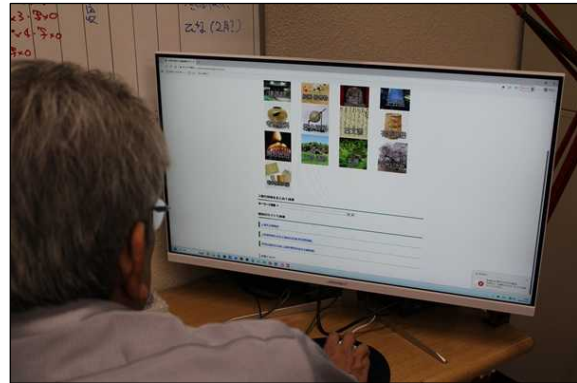
○令和7年度は前年度に立ち上げた検索システムの登録情報を充実させ、公開に向けた環境整備を実施した。あわせて、管理用PC・館内閲覧(来館者)用のPCの更新作業を実施し、新しい検索システムに移行した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き土浦市の歴史・文化の公開と情報発信につとめていく。

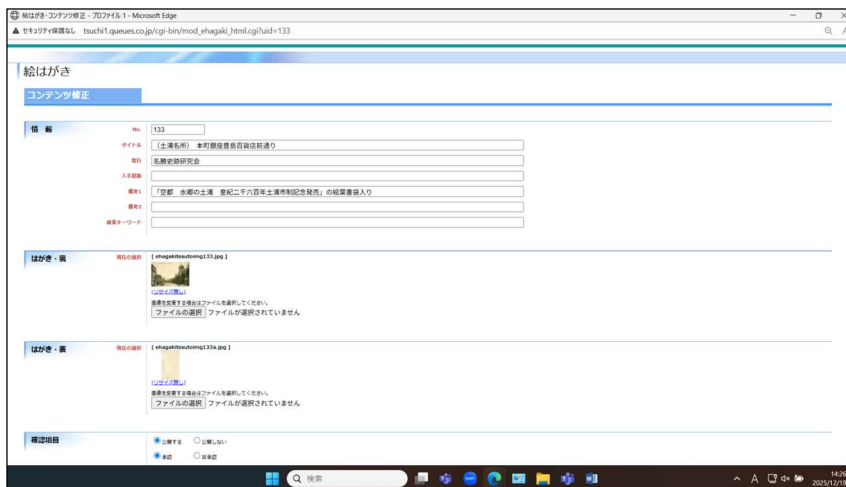
状況を示す写真や資料等



展示ホール検索用端末の更新



管理用端末の更新



検索システムの登録画面(情報の追加作業)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		担当	現在の状況
(4)② 上高津貝塚再整備事業		土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和15年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	開館後30年を経過した施設及び広場の改修を行い、これまでの調査・研究成果を活かした歴史学習の場と憩いの空間を創出する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、令和6年度に実施した基本・実施設計を基に、長寿命化改良基本・実施設計の実施と擦り合わせ、映像資料の検討や計画内容のブラッシュアップを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施にあたり、長寿命化改良工事との強い連携・一体的な整備が必要。

状況を示す写真や資料等

○令和8～9年度の2か年で展示改装を実施し、「つながるミュージアム」をコンセプトに、令和10年4月中のリニューアルオープンを目指す。



リニューアルオープンのイメージ図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(4)③ 亀城公園整備・活用事業	土浦市公園・施設管理課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業、市単独事業

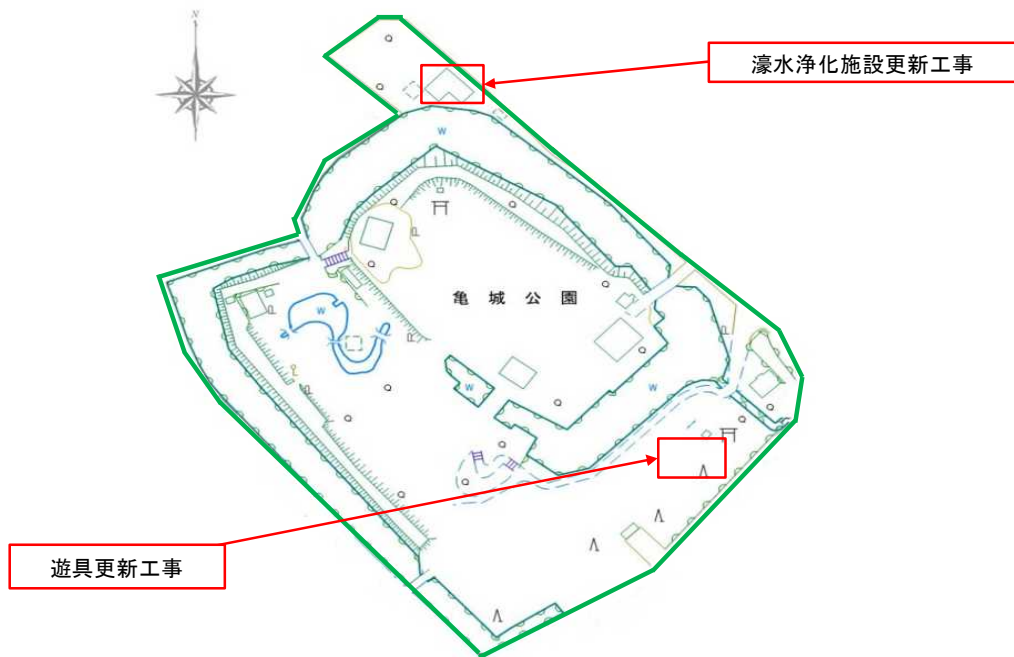
計画に記載している内容	良好な風致・景観を備えた歴史的な町並みのシンボルとして、また、まちなかの憩いの場として、市民及び来訪者に親しまれる公園の環境を維持し、子供が史跡に触れる機会を創出するため、濠水浄化施設及び遊具の更新、イベントの開催等により公園利用者の増加を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○遊具及び濠水浄化施設の更新工事、枯木の剪定・伐採や松枯予防措置等の実施により、市民及び来訪者に親しまれる公園の環境の維持や、子供が史跡に触れる機会の創出に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



更新した遊具



更新した濠水浄化施設のタンク

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(5)① 中心市街地まちなか再生事業		土浦市都市整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

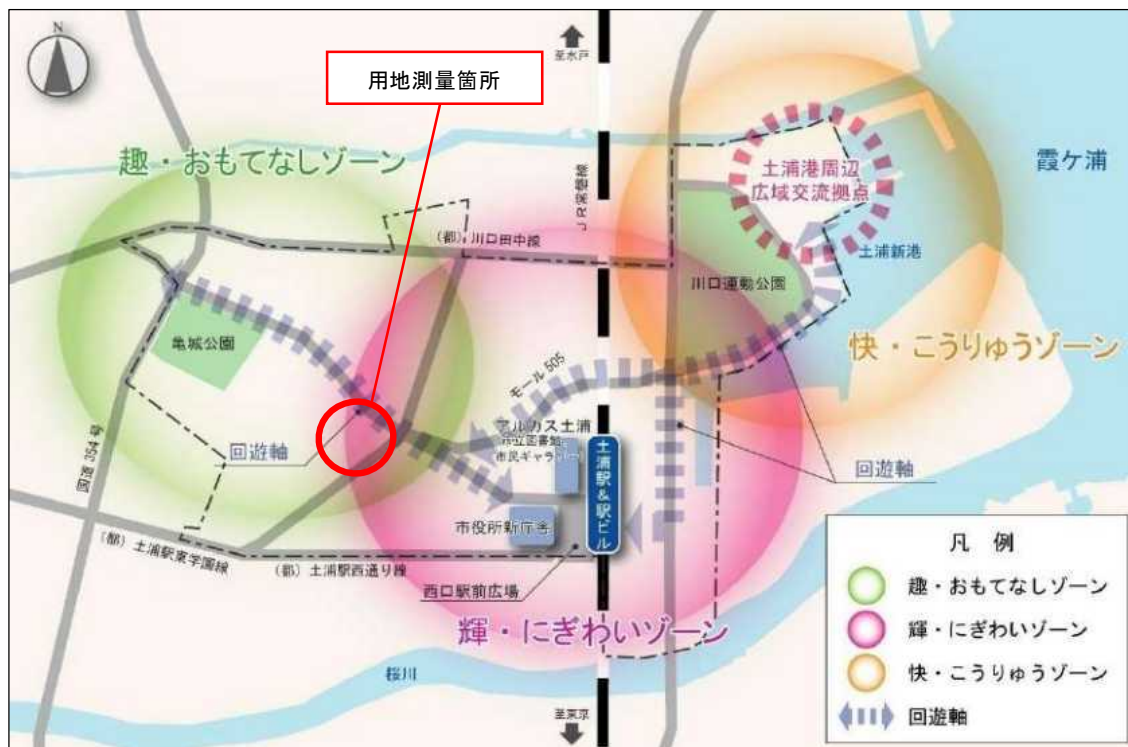
事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的な建造物が集積している中央地区については、中心市街地活性化基本計画の中で「趣・おもてなしゾーン」と位置づけており、亀城モールを活用したにぎわい創出や、その周辺地区をつなぐネットワークの強化など、都市機能の更新を図ることで、地域の特性を活かした活気あるまちづくりを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、商業施設や子育て支援施設、交流拠点施設等の公共施設導入を進めるため、用地測量を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中央一丁目地区の新たな拠点施設について、建築費の高騰などの社会経済情勢の変化に対応するとともに、地権者との合意形成を図りながら整備に向けて取り組む。

状況を示す写真や資料等



事業位置図

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(5)② 水郷筑波サイクリング環境整備事業	土浦市政策企画課、都市計画課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

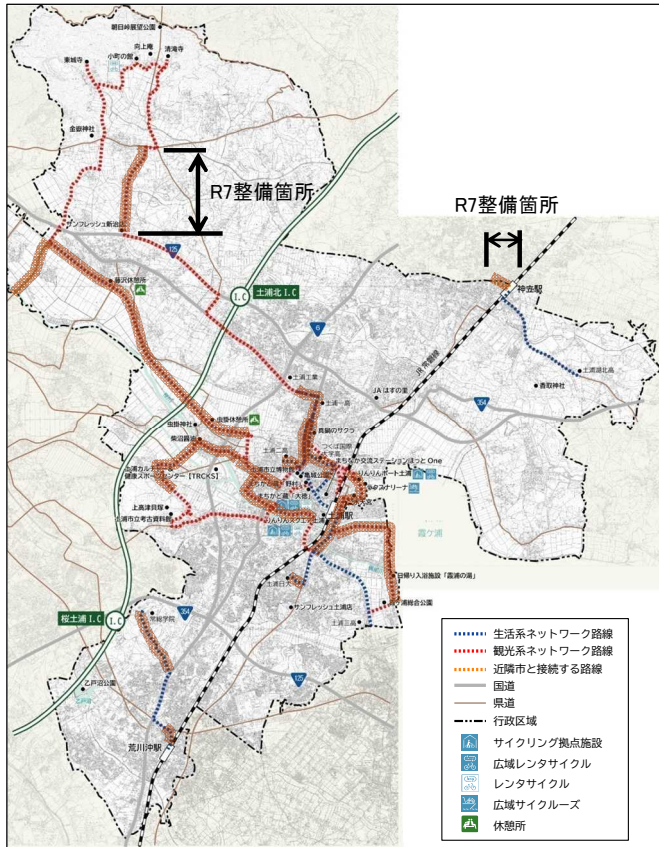
計画に記載している内容	市内各所の歴史・文化遺産等の観光スポットをつなぐ道路について、自転車が安全で快適に走行できる空間を整備するとともに、県・周辺市町村と連携して魅力発信に取り組むほか、広域レンタサイクル事業を推進し、自転車拠点施設及び各施設間の周遊環境向上を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、県や周辺市町村と連携し「CYCLE MODE TOKYO」をはじめとしたイベントに出展し、本市の自転車環境PRを実施した。  
 ○自転車の走行空間整備延長 (令和7年度) 実績 2.2km/当初計画 2.2km  
 (累計) 整備済 17km/計画延長 42.0km

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	国道・県道の整備にあたっては、道路管理者と連携を図っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業位置図



整備状況(土浦市藤沢付近)



整備状況(土浦市神立中央二丁目付近)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(5)③ 公共サイン・観光案内板整備事業	土浦市商工観光課、都市計画課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	歴史的な建造物に誘導するサインや観光案内板等については、設置箇所が不足しているとともに、デザインが統一されていない物もあることから、平成25年(2013)に策定した「土浦市公共サイン整備ガイドライン」に基づき、サイン等の整備を推進し、各施設間の周遊性向上を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和7年度は、霞ヶ浦総合公園、国民宿舎水郷への案内板の修繕(応急処置)を実施。約30年前に作られた看板で、強風の影響によりタンが剥がれ落下の危険性があったため、修繕を実施した。道路対面に類似看板があるため、撤去も視野に調整中。  
 ○令和7年度に、土浦市亀城プラザ付近にある歩行者系地域案内サインの修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



国民宿舎水郷案内看板の修繕(霞ヶ浦総合公園入口)



歩行者系地域案内サインの修繕(土浦市亀城プラザ前)



国民宿舎水郷案内看板 位置図



歩行者系地域案内サイン 位置図

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(1)④ 文化財危機管理対策事業	土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 文化財への定期的な巡視や文化財防火デー防火訓練を継続的に実施する。  
 また、非常時における文化財の状況把握体制を構築するとともに、速やかな復旧にむけたノウハウを総合する手引きの作成を進める。  
 さらに、文化庁が示す「国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づき、博物館施設の対応などを定める「大規模災害対応マニュアル」を作成し、多方面から文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 ○市職員による定期的な文化財の現地確認を行うとともに、市民団体である文化財愛護の会によるパトロールを継続的に実施した。  
 ○土浦市教育委員会及び土浦市消防本部の主催により、クラフトシビックホール土浦にて文化財防火デー防火訓練を実施した。  
 ○指定文化財に係る電気配線診断事業を実施した。  
 ○文化財防災計画の策定に向け、研修の受講等、情報収集を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財防火デー防火訓練の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(2)① 「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」周知・啓発事業	土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	国の記録選択「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」を観光帆曳船やシンポジウムを通じ広く周知・啓発する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○土浦市、かすみがうら市、行方市、3市による実行委員会主催で、クラフトシビックホール土浦にて、「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」に係る映像上映会及びシンポジウムを開催し、定員を超える来場者が得られた。  
 ○記録映像について、令和7年8月から、ホワイトアイリス号及びびりりんボートにて放映を開始するとともに、YouTubeにて公開した。さらに、観光ボランティアと連携し、帆引船のPRを推進した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



映像上映会



シンポジウム (パネルディスカッション)



ホワイトアイリス号内での放映



観光ボランティアによる説明

「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」記録映像 (YouTube土浦市公式チャンネル)  
 『霞ヶ浦が生んだ奇跡の漁法～生きた民俗技術を後世に伝えていくために～』

概要版 (7分) : <https://www.youtube.com/watch?v=sHfdEh-EFOk>  
 普及版 (33分) : <https://www.youtube.com/watch?v=qpaxAZb7Y7Y>



概要版



普及版

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(2)② コミュニティ助成事業		土浦市市民活動課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和15年度		
支援事業名	一般財団法人自治総合センターによる一般コミュニティ助成事業		
計画に記載している内容	一般財団法人自治総合センターが、宝くじの収益を活用して行うコミュニティ助成事業のうち「一般コミュニティ助成事業」により、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、活動に直接必要な備品等の整備に対し、助成を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○助成申請2件のうち、1件(土浦市中神立町地区会の子ども神輿購入)を採択した。  
 本助成事業により、地区会におけるコミュニティ活動の促進と自治意識の向上を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域のコミュニティ活動の促進と連帯感の高揚を図ることにより、地域固有の伝統的行事が将来に渡り継承され、歴史的風致の維持向上に寄与できるよう事業を継続する。

状況を示す写真や資料等



令和7年度子ども神輿購入(中神立町地区会)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
(2)④ 無形民俗文化財等保存・継承支援事業		土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和15年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市に残る県指定の文化財(無形民俗文化財)等の保存団体に対して補助を行うことにより、地域固有の活動の継承を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○県指定無形民俗文化財の保存団体に対して、補助金を支給し、保存・継承の支援を行った。  
 日枝神社流鏝馬祭(20万円)・からかさ万灯(20万円)・田宮ばやし(15万円)  
 ○県文化課と情報共有しながら、無形民俗文化財を対象とする民間助成金への応募申請を4件行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



田宮ばやし



日枝神社流鏝馬祭



からかさ万灯

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(4)④ 博物館重要資料公開推進事業	土浦市博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	特別展、テーマ展、総合(季節)展示などの開催を通じて、土浦の歴史・文化を広く公開・発信していく。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和7年度は、総合展示(季節)展示のほか、次の展覧会事業を実施した。
- ・第46回特別展「まなびのかたちー江戸時代のキャリアデザイン」(令和6年度継続事業)
  - ・夏休みFMテーマ展「ご先祖さまー弔う・迎える・期待する」
  - ・テーマ展「土浦花火百年」 ・特別公開「土屋家の刀剣」
  - ・企画展「土浦藩士の江戸・明治」(令和8年度継続事業)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き土浦市の歴史・文化の公開と情報発信につとめていく。

状況を示す写真や資料等



特別展「まなびのかたち」



令和7年度春季展示 近世コーナー



テーマ展「ご先祖さま」



テーマ展「土浦花火百年」

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
(6)② 未指定文化財把握調査事業	土浦市文化振興課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

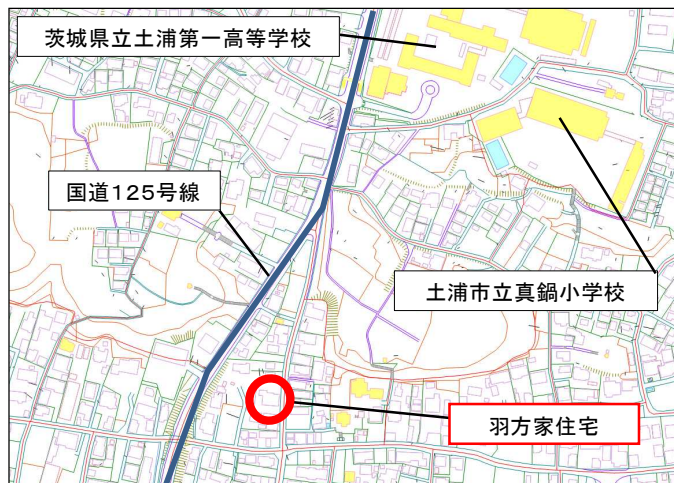
事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	令和3年度(2021)に、旧土浦城下、真鍋地区、新治地区等において、石造物や建造物を中心に未指定文化財の調査を行ったが、未実施の地区についても引き続き調査を行い、文化財の把握を進める。調査により得られた成果については、土浦市立博物館や上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館)の特別展図録・企画展パンフレット等で活用を図る。なお、文化財の調査にあたっては、文化財愛護の会や茨城県建築士会土浦支部等の関係団体と協働で実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○茨城県建築士会土浦支部に一部業務を委託し、真鍋三丁目地内「羽方家住宅」の詳細調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



羽方家住宅 位置図



羽方家住宅(真鍋三丁目地内)

評価軸④-7 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(4)⑤ 「土浦の歴史と民俗」映像ソフト制作事業		土浦市博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和7年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の祭礼や信仰などの民俗文化財に関する映像を制作する。制作した映像は博物館情報ライブラリーや展覧会などで鑑賞に供するほか、インターネット上などでの公開も検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和7年度は「土浦市指定無形民俗文化財『菅谷ばやし』と祇園祭」映像記録を製作した。記録作成のポイントは以下のとおりである。 ・菅谷地域の概観(神輿が浜降りをする鶴沼、神輿渡御の起点となる八坂神社を含む地域の自然・地理環境を紹介) ・祇園祭の記録(神事としての浜降りと、祭事としてのお囃子の屋台の巡行を記録する。当日だけでなく祭礼準備も含めて記録) ・お囃子の記録(演奏される6曲を記録、練習風景も含めて記録) 完成した映像は今後、博物館情報ライブラリーに登録して来館者の閲覧に供するほか、インターネット上での公開も計画している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き土浦市の歴史・文化の公開と情報発信につとめていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
神輿を載せる真菰(まこも)のゴザづくり (令和7年7月26日)		祇園祭・鶴沼への浜降りと神事 (令和7年7月27日)	
			
祇園祭・お囃子の地区内巡行		菅谷ばやしの曲目ごとの記録化 (令和7年11月16日)	

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
①城郭に春の彩り 土浦・亀城公園	令和7年4月5日	茨城新聞
②見事に矢が的中 日枝神社で流鏝馬祭 土浦	令和7年4月7日	NEWSつくば
③土浦のレンコンスポットを紹介 食べる・買う・写真撮影 市がデジタルマップをHPで公開 利用無料	令和7年4月30日	東京新聞
④帆引き網漁 技術継承を 7月6日、茨城・土浦でシンポ	令和7年6月27日	茨城新聞
⑤土浦 霞ヶ浦の帆引網漁シンポ「地域の宝」継承、方策は 市民の協力や行政支援が不可欠／茨城	令和7年7月7日	毎日新聞
⑥霞ヶ浦の湖面を「帆引き船」が威風堂々	令和7年8月17日	朝日新聞
⑦勇壮「刻の太鼓」令和に響け 復活四半世紀 土浦・保存会 江戸の名残 継承 毎年「時の記念日」	令和7年8月19日	東京新聞
⑧出土品の文字から遺跡の性格探る 開館30周年企画展 土浦	令和7年10月13日	NEWSつくば
⑨土浦花火百年 55点の大会資料を展示 市立博物館	令和7年10月22日	LuckyFM茨城放送
⑩土浦花火大会 100年祝う2万発 茨城	令和7年11月2日	茨城新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も歴史まちづくりへの関心や理解を深めるため、各メディアに対して積極的に情報発信を行うとともに、YouTubeやX等のSNSも活用して幅広い世代に周知を図っていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>報道等の内容</p> <p>①亀城公園にある約50本のソメイヨシノの開花と園内の櫓門が紹介された。</p> <p>②日枝神社で流鏝馬祭が開催されたことやその由来、および県指定無形民俗文化財に指定されていること等の報道があった。</p> <p>③土浦市が、レンコンを飲食・購入できる場所や関連のフォトスポットをまとめた「デジタルマップ」を制作したことが掲載された。</p> <p>④・⑤・⑥国選択無形民俗文化財「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」のシンポジウムが7月6日に、クラフトシビックホール土浦で開催されることが報道された。</p> <p>⑦亀城公園内にある櫓門で、江戸時代に太鼓で時刻を知らせた「刻の太鼓」を鳴らす催しがあったことが紹介された。</p> <p>⑧上高津貝塚ふるさと歴史の広場において、開館30周年記念として県内各地の遺跡の、文字が刻まれた出土品約100点が公開されていることが新聞に掲載された。</p> <p>⑨・⑩土浦全国花火大会が100周年を迎え、大会の由来や、開催当時の資料等が土浦市立博物館において展示されることが掲載された。</p> </div>		

評価軸⑥

その他(効果等)

		評価対象年度	令和7年度
項目		担当	現在の状況
(2)③ 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業		土浦市農林水産課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和6年度～令和15年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 本市では日本一の生産量を誇るレンコンや名産である佃煮を始めとした、地域の特性を生かして育まれてきた農林畜水産物やその加工品などを「土浦ブランド」として認定し、付加価値や認知度の向上を図ってきた。この認定品を市のブランドアップのシンボルとして活用し、様々な形でその魅力をPRし、交流人口の増加やまちの賑わい創出を図る。また、将来にわたり産業を継承するため、担い手が安定して商いを継続できるよう、販路の拡大を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○随時イベント等でパンフレット等を配布。イベントには認定事業者が出店し、PRに取り組んでいる。  
 ○令和7年度 プロモーション活動(参加イベント)  
 5月: イオンモール土浦での茨城県主催イベント(市内)      8月: フレンドリータウンデイズ「土浦の日」(鹿島スタジアム)  
 9月: 全日本アームレスリング選手権大会(市内)      10月: 茨城をたべよう収穫祭2025(世田谷区)、シクロクロス大会(市内)  
 11月: 図書館フェス(市内)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の方向性や実施内容等の見直しを検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

土浦ブランド認定第5期一覧

番号	認定品名	認定事業者	⑳ 紫峰しょうゆ	株式会社 志ち乃
①	れんこん	水郷つくば農業協同組合	㉑ 天然川エビつけ麺	土浦ラーメン
②	つくば山麓 飯村牛	株式会社 飯村畜産	㉒ レストラン中台のレトルトカレー	レストラン中台
③	土浦産常陸秋そば	一般財団法人 土浦市農業公社	㉓ ぼんふる	マルベリーくだもの本舗
④	霧ヶ浦産 白魚煮干	常磐商店	㉔ かあちゃん手づくり れんこん味噌	れんこん工房
⑤	小えび佃煮	有限会社 田中屋川魚店	㉕ 本格そば焼酎 土浦小町	明利酒類株式会社
⑥	佐藤畜産の極選豚	佐藤畜産株式会社	㉖ れんこん黒糖パウムクーヘン	和パウムクーヘン工房つか本
⑦	紫峰しょうゆ	紫沼醤油醸造株式会社	㉗ 吉田農園の「蓮の葉茶」	吉田農園
⑧	わかさぎのコンフィ	小松屋食品株式会社	㉘ すずき蓮根農園のれんこん	すずき蓮根農園
⑨	亀城味噌	J A水郷つくば女性部加工部会	㉙ 極上無漂白蓮根	野口れんこん
⑩	霧ヶ浦帆引れんこん物語	株式会社 久月総本舗	㉚ 市川蓮根	市川蓮根
⑪	土浦常名の里の純米大吟醸	株式会社 土浦鈴木屋	㉛ 飯村牛そば	小松屋食品株式会社
⑫	栗どら	株式会社 志ち乃	㉜ 和栗モンブラン	有限会社 アップルハウス
⑬	九万五千石	前島製菓	㉝ 海老白湯ラーメン	土浦ラーメン
⑭	霧浦の恵み	有限会社 高月堂	㉞ れんこん焼酎 土浦恋酒(れんこん)	明利酒類株式会社
⑮	瀬田蕎麦	株式会社 瀬田興業	㉟ 土浦カレー	café San Jose (カフェ サンホセ)
⑯	蓮根カレーバイ	創作和菓子 すぎやま		
⑰	グラジオラス	水郷つくば農業協同組合		
⑱	レストラン中台の土浦レンコン福神漬	レストラン中台		
㉑	レンコンどら焼き	株式会社 久月総本舗		
㉒	小野の里の山田錦大吟醸	株式会社 土浦鈴木屋		
㉓	福来軒のツェペリンカレーコロケ	有限会社 福来軒		
㉔	れんこん蔵中	創作和菓子 すぎやま		
㉕	つちうらブレンド×つちうらネル	ニコニコ珈琲		
㉖	梨	水郷つくば農業協同組合		
㉗	吉田農園のれんこん	吉田農園		
㉘	わかさぎのエスカバッシュ	小松屋食品株式会社		
㉙	土浦小町みそ	一般財団法人 土浦市農業公社		



イオンモール土浦でのPRの様子 (令和7年5月)

## ・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 令和7年度第1回土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 令和8年1月26日(月)

## (コメントの概要)

- 1 土浦市民会館が国登録有形文化財および歴史的風致形成建造物に指定されたが、敷地の生垣によって道路側から見えにくいと感じる。道路を通行する人等にも、もっと建造物を知ってもらえるようにアピールしていくことが重要だと思う。
- 2 土浦のまちかど蔵「大徳」・「野村」周辺で開催されているイベントでは、開催をスムーズに行うために、交通規制等による対応を検討をしていただきたい。
- 3 サイクリングロード「りんりんロード」での照明機器の設置数が、近隣の市より少ないと感じる。夜間の事故を防ぐために、設置する箇所を増やした方が良いと考える。
- 4 「土浦城址整備事業」では、濠の復元を行う予定となっているが、亀城公園にある浄水施設の能力で賄えるのか、事前に確認した方が良い。
- 5 亀城公園内における桜の本数が減少しているが、亀城公園は土浦市の顔でもあり、様々なイベントの開催場所にもなっている。今後、樹木を増やしていただきたい。
- 6 計画の進捗状況について、計画がどれくらい進んでいるのか分かりにくいいため、現状の課題点や達成できていない点がわかるように示していただければと思う。



協議会当日の様子

## (今後の対応方針)

引き続き、本協議会でいただいたご意見、ご助言を参考に、県や関係機関と連携しながら歴史まちづくり事業を推進していく。